

沼田町化石館年報

Annual report of Numata Fossil Museum

第18号

Volume 18

平成30(2018)年度

The year of 2018

2019年3月印刷

Published in 2019 Mar.

目次

1. 沼田町化石館の概要
 - 1-1. 沿革
 - 1-2. 設置目的
 - 1-3. 利用案内
 - 1-4. 施設内容
2. 事業
 - 2-1. 展示
 - (1) 常設展
 - (2) 企画展
 - (3) 特別展
 - 2-2. 教育普及
 - (1) 化石採取会
 - (2) ジュニア化石クラブ
 - (3) 体験メニュー
 - (4) 講演
 - 2-3. 広報出版活動
 - 2-4. 研究
 - 2-5. 資料管理
3. 管理運営
 - 3-1. 化石体験館利用状況
 - 3-2. 組織と職員

1. 沼田町化石館の概要

1-1. 沿革

- 1985年 9月 沼田歯鯨会設立.
- 1988年 5月 沼田歯鯨会を沼田化石研究会に改称.
- 1992年 4月 沼田町自然史研究室を開設. 古澤仁学芸員着任.
- 1998年 4月 古澤仁学芸員が離任し篠原暁学芸員着任.
- 1999年 12月 自然史研究室を取り壊しのため閉鎖. 旧社会福祉センターを沼田町化石館として移転.
- 2000年 4月 沼田町化石館オープン
- 6月 企画展「春の山野草写真展」を開催(6/26～8/4)
- 8月 特別展「植物のたどってきた道」を開催(8/8～9/3)
- 11月 ヌマタネズミイルカ発見15周年を記念し原標本を初公開(11/20～12/9)
- 2001年
- 4月 篠原学芸員が離任し山下茂指導員着任.
- 7月 特別展「沼田の海を泳いだクジラたち」を開催(7/30～8/31)
- 10月 企画展「沼田産タカハシホタテの謎」を開催(10/1～31)
- 2002年
- 7月 特別展「世界の学説を変えたヌマタセイウチ」を開催(7/22～8/31)
- 9月 ミニ展示として沼田のモササウルス原標本を初公開(9/9～10/30)
- 12月 ミニ展示として町内産の化石を生涯学習総合センターに展示(12/24～1/31)
- 2003年 8月 山下指導員が病気により他界.
- 2004年 4月 篠原暁学芸員再任.
- 7月 特別展「世界で一つのヌマタネズミイルカの謎」を開催(7/24～8/29)
- 8月 山下茂先生追悼企画展「水溜まりの宝物」を開催(8/23～31)
- 10月 企画展「アンモナイトの魅力」を開催(10/30～11/19)
- 2005年 4月 沼田化石研究会が発展的に解散.
- 5月 企画展「恐竜探検に行こう」を開催
- 7月 特別展「沼田にクジラがいた頃」を開催
- 10月 企画展「新聞に見る沼田の化石研究25年の歩み」を開催(10/1～14)
- 2006年 5月 特別展「タカハシホタテと仲間たち」を開催(5/3～8/31)
- 11月 企画展「みんなで恐竜を作ったよ」を開催(11/20～12/1)
- 2007年 5月 特別展「イルカとクジラはどう違うの？」を開催(5/3～8/31)
- 9月 ジュニア化石クラブが日本地質学会年会(札幌)で活動を発表
- 10月 企画展「沼田町のタカハシホタテ」を開催(10/6～12)
- 2008年 2月 臨時職員の谷口真弓氏が離任
- 3月 臨時職員として臼井寛子氏が着任(3/31まで)
- 4月 臨時職員として河原幸子氏が着任
- 5月 企画展「宮沢賢治と地質学」を生涯学習総合センターで開催(5/10～25)
- 6月 沼田町化石館展示室が終了
- 化石体験館臨時職員として長岡亜矢子氏を採用
- 7月 幌新温泉隣接の旧陶芸館跡に沼田町化石体験館がオープン(7/19)
- 2009年 4月 冬季閉館中だった化石体験館再開
- 5月 春の企画展「沼田化石ヒストリー」を開催
- 7月 1周年記念行事として徳川広和氏の講演会を実施(7/19)
- 特別展「白亜紀の怪物クビナガリュウ」を開催
- 10月 秋の企画展「紙の動物園」を開催

2010年

4月 化石体験館臨時職員として菅原瑞枝氏を追加採用

5月 沼田町古生物復元模型完成披露&徳川広和恐竜模型展開催（5/1～5/31）

7月 特別展「沼田の海を泳いだクジラたち」を開催（7/17～8/29）

沼田レプリカ工房作品展「動物頭骨大集合」開催

8月 化石体験館個人有料入館者数 5,000人達成（8/2）

2011年

3月 レプリカ工房臨時職員の小坂恵子氏が離任

4月 レプリカ工房臨時職員として春山祐子氏が着任

5月 春の企画展「デスモスチルスと仲間たち」を開催（5/1～7/18）

7月 特別展「これがモササウルスだ！」を開催（7/23～8/28）

2012年

2月 レプリカ工房臨時職員の春山祐子氏が離任

4月 レプリカ工房臨時職員として谷口真弓氏が着任

5月 春の企画展「不思議な生物フジツボ」を開催（5/3～7/16）

7月 特別展「北の人魚～その悲劇の始まり」を開催（7/28～9/2）

2013年3月 化石体験館臨時職員の長岡亜矢子氏が離任

4月 化石体験館臨時職員として鶴野聡美氏が着任

5月 春の企画展「美しきハ虫類」を開催（4/29～7/15）

7月 特別展「追え!謎の生物デスモスチルス」を開催（7/27～9/1）

2014年 5月 春の企画展「次々発見!イカの先祖たち」を開催（4/29～7/21）

7月 特別展「僕たちだって沼田っ子」を開

催

8月 沼田町開拓120年記念事業北大博物館准教授の小林快次博士が講演

9月 レプリカ工房臨時職員の辻優子氏、河原幸子氏が離任

12月 レプリカ工房臨時職員に高山陽子氏と沼田祐輔氏が着任

2015年4月 田中嘉寛学芸員が着任

企画展「沼田は太古の水族館」を開催

5月 化石体験館個人有料入館者数 15,000人達成（5/2）

7月 特別展「ヌマタネズミイルカ」を開催

12月 レプリカ工房臨時職員の沼田祐輔氏が離任

2016年4月 吾子博明氏が着任

企画展「復元の科学」を開催

7月 特別展「沼田を泳いでいた小さなクジラ」展を開催

3月 吾子博明氏が離任

田中嘉寛学芸員が離任

2017年4月 松井佳祐学芸員が着任

田中嘉寛氏が特別学芸員に着任

レプリカ工房臨時職員に長谷川文子氏が着任

企画展「タカハシホタテが暮らしていた」を開催

5月化石体験館個人有料入館者数 20,000人達成（5/5）

6月 中島礼博士・田中嘉寛博士の講演

7月 特別展「アンモナイトとイルカ～清水守氏コレクション～」を開催

西村智弘博士の講演会

9月 谷口真弓氏が離任

2018年4月 レプリカ工房臨時職員に井上絵理氏が着任

企画展「小さなクジラハーペトケタスの仲間」を開催

8月特別展「時をながれる川～沼田町1億年物語り～」を開催

9月 「沼田町化石体験館開館10周年記念イベント vol.1 恐竜復元教室」を開催

10月 「沼田町化石体験館開館10周年記念イベント vol.2 化石博士集合」を開催

10月 ヌマタネズミイルカが北海道の天然記念物に指定される

1-2. 設置目的

目的1. 沼田町の財産である化石を、町民にわかりやすく展示・普及すること.

目的2. 貴重な化石を地元で研究し、その成果を世界に向けて発信すること.

目的3. 学校や社会での要求が高まりつつある体験学習の場を提供し、その活動を支援すること.

目的4. 町内外の化石愛好者が交流を行う場を提供するとともに、その活動（友の会）の拠点となること.

1-3. 利用案内

沼田町化石館の施設は、レプリカ工房（市街地）と化石体験館（幌新）に分かれている。

（1）レプリカ工房

旧化石館は現在もレプリカ工房と研究室の機能を残している。レプリカ工房では大型脊椎動物の復元骨格や化石を母岩から掘り出すクリーニング作業を行っている。

【休館日】 土曜日，日曜日，祝日

【時 間】 10:00～16:00

【電 話】 0164-35-1034

【住 所】 〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7-49

（2）化石体験館

ほろしん温泉周辺のほたるの里に位置する。館内では沼田町から発見された脊椎動物化石の復元骨格を展示し、化石に関する様々な教育プログラムを行うことができる。

【休館日】 月曜日（月曜日が祝日なら開館），祝日の翌日，冬季（11/4～4/28）

【時 間】 9:30～17:00

【料 金】 個人： 一般 500 円 / 小中高校 300 円

 団体： 一般 400 円 / 小中高校 200 円

町民および小学校入学前の幼児は無料

【体 験】 2-2. 教育普及（3）体験メニューを参照.

【電 話】 0164-35-1029

【住 所】 〒078-2225 北海道雨竜郡沼田町字幌新 381-1

1-4. 施設内容

(1) 沼田町化石館化石レプリカ工房 (旧沼田町化石館)

【所 轄】 沼田町教育委員会

【所 在 地】 北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7番49号

【構 造】 木造2階建て

【延べ面積】 322.29m²

階	室 名	面 積	機 能
1階	レプリカ工房	59.49m ²	展示用のレプリカを製作
	クリーニング室	13.22m ²	ダイヤモンドカッター, エアスクライバによる岩石切削
	化学作業室	14.87m ²	酸による化学的クリーニングなどを行う
	資料整理室	13.22m ²	レプリカ母型の一時保管場所
	収蔵庫	24.55m ²	貝や散在骨化石を収蔵. 重要標本は金庫で保管
2階	収蔵作業室	105.76m ²	大きなレプリカ母型やレプリカを収蔵
	館長室および研究室	19.30m ² +10.90m ²	博物館業務およびインターネットによる情報発信

【平面図】 《2階》



《1階》



(2) 沼田町化石体験館 (旧陶芸館)

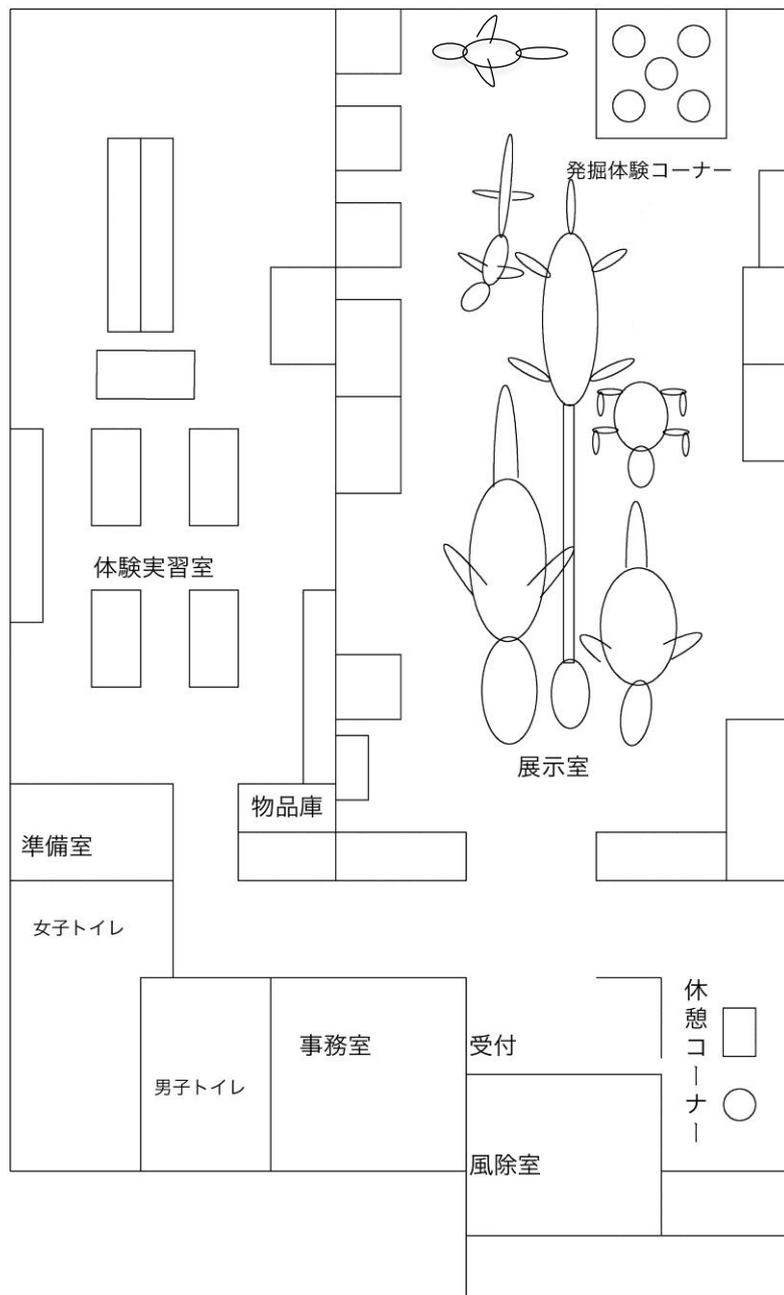
【所 轄】沼田町教育委員会

【所 在 地】北海道雨竜郡沼田町幌新 381 番地の 1

【構 造】鉄骨造平屋建て

【延べ面積】333.6m²

【平面図】



- *体験実習は40名まで可能
- *男子トイレは車椅子対応
- *休憩スペースのみ飲食可能

2. 事業

2-1. 展示

(1) 常設展 沼田町産出化石を中心に展示

■ヌマタナガスクジラ, ヌマタカイギュウ, デスモスチルス, モササウルス, クビナガリュウ, アンモナイト, 貝化石, 植物化石, 生痕化石, 古生物生体復元模型を展示している.

■ヌマタネズミイルカのコーナーをアップデート.

(2) 企画展

■「小さなクジラハーペトケタスの仲間」展

【会期】4月29日(日・祝)～11月3日(土・祝)

【会場】化石体験館 展示室

【内容】大人になっても3, 4メートル程度の「ハーペトケタス」というグループのクジラについて, 最新の研究とともに紹介した.



写真： 展示の様子

(3) 特別展

■「時をながれる川～沼田町1億年物語り～」展

【会期】7月13日(金)～9月2日(日)

【会場】ほろしん温泉ほたる館ロビー

【内容】沼田町で発見された代表的な化石を, 時代をおって紹介した.

【協力】古澤仁氏(札幌市博物館活動センター)にはポスターの画像を提供いただいた.



写真： ほたる館ロビーでの展示の様子.

2-2. 教育普及

自然科学や化石に触れあうことを目的とした普及行事を児童生徒から大人まで対象に実施している。

(1) 化石採取会

幌新太刀別川でタカハシホタテなどの化石を1つ採取する。合計269名が参加した。

- ・第1回 【期日】6月10日(日) 【参加者】41名
- ・第2回 【期日】6月17日(日) 【参加者】49名
- ・第3回 【期日】6月24日(日) 【参加者】43名
- ・第4回 【期日】7月8日(日) 【参加者】雨により中止
- ・第5回 【期日】7月22日(日) 【参加者】47名
- ・第6回 【期日】7月29日(土) 【参加者】43名
- ・第7回 【期日】8月5日(日) 【参加者】46名



写真：化石採取会の様子

(2) ジュニア化石クラブ

「ヌマタネズミイルカを調べよう」として実施。全5回で、ヌマタネズミイルカについて学習し、スケッチ、模型作りなどを行った。また、沼田化石体験館開館10周年記念イベント「恐竜復元教室」「化石博士集合」にも参加した。

(3) 体験メニュー

・化石模擬発掘

室内の専用発掘コーナーで本物のタカハシホタテ化石を発掘する。採取した化石はクリーニングをして持ち帰ることができる。小・中・高校生限定1日5組まで。入館料と別料金、600円。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約1時間

・レプリカ製作

石こうによるレプリカ作りの実習で、団体の場合は予約が必要。一般来館者は随時受講可能。1回に40名まで可能。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約1時間

【種類】タカハシホタテかプリオサウルスの歯のどちらかを選択

・ミニ発掘 化石&クリスタル

アンモナイト、サメの歯など小さな化石や水晶などのクリスタルを埋め込んだ人造ノジュールを掘って中身を取り出す。1回に40名まで可能。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約15分

・ハイグレードミニ発掘

通常のミニ発掘よりも質の高い化石、クリスタルを使用する。入館料と別料金、600円。

【実施場所】化石体験館 【所要時間】約15分。道具はハンマーとタガネを使用。

・月別体験メニュー

通常の体験メニューに加えて、月替わりでミニメニューを提供。

【実施場所】化石体験館 【料 金】入館料のみ（追加は1個200円）

【内 容】5月：オリジナルコースター，6月：ミニホタテマグネット，7月：エコクラフトボックス，9月：ジェルシール，10月：化石クリップ。

（4）講演

・オープニングトーク

【期 日】4月29日（日・祝）

【場 所】化石体験館 体験実習室

【参加者】15名

【講 師】木村方一名誉館長，田中三郎指導員

【内 容】木村名誉館長の挨拶に続き，田中指導員がタカハシホタテについて説明した。



写真：木村方一名誉館長（左）．田中三郎指導員（右）．

・化石体験館開館10周年記念事業 vol.1 ワークショップ「恐竜復元教室」

【期 日】9月16日（日）

【場 所】化石体験館

【参加者】24名

【講 師】徳川広和氏（株式会社 ActoW）

【内 容】古生物造形について講演を行った後，ワークショップを行い，その中でティラノサウルスの骨格を模した消しゴムに，カラー粘土で肉付けをした。



写真：ワークショップの様子．写真右端が徳川氏（左）完成作品（右）

・化石体験館開館10周年記念事業 vol.2 シンポジウム「化石博士集合」

【期 日】10月8日（月・祝）

【場 所】ほろしん温泉ほたる館

【参加者】71名

【講 師】木村方一名誉館長（沼田町化石館）中島礼博士（産業技術総合研究所）田中嘉寛博士（大阪市立自然史博物館，沼田町化石館特別学芸員）古澤仁博士（札幌市博物館活動センター）小林快次博士（北海道大学総合博物館）

【内 容】各講師が、沼田町の話と絡めながら化石の魅力について講演した。中島博士は「タカハシホタテ化石」について、田中博士は「クジラ・イルカ」について、古澤博士は「カイギュウ」について、小林博士は「恐竜」についてそれぞれ講演した。その後、参加者とともに昼食をとった。続いて、会場向かいにある化石体験館に場所を移した交流会では、子どもたちを中心に疑問に思ったこと、将来恐竜博士になるためには、など積極的な交流が見られた。



写真：中島博士，田中博士，古澤博士，小林博士（左より）

・出展

【期 日】2018年8月25日

【場 所】函館市五稜郭タワー/アトリウム

【講 師】篠原暁学芸員

【内 容】ミニ発掘 「ジオフェスティバル in はこだて」

【期 日】2018年10月7日

【場 所】砂川市公民館

【講 師】篠原暁学芸員

【内 容】ミニ発掘 「砂川市生涯学習の集い」

【期 日】2018年12月2日

【場 所】沼田町生涯学習総合センターゆめっくる

【講 師】松井佳祐学芸員

【内 容】ミニ発掘 「町民交流フェスタ」



写真：町民交流フェスタでの様子

【期 日】2019年1月13日
【場 所】札幌市北海道博物館
【講 師】篠原暁学芸員
【内 容】レプリカ作り 「北海道化石フェスト 2019」

・社会教育活動

【期 日】2018年6月9日
【場 所】札幌学院大学
【講 師】松井佳祐学芸員
【内 容】招待講演 「公開講座 地域と学業-地元の文化を調査して卒業しました-」

【期 日】2018年7月21日
【場 所】旭川市トーヨーホテル
【講 師】松井佳祐学芸員

【内 容】招待講演 「KUMON 未来フォーラム 博物館学芸員の仕事」

【期 日】2018年8月8日
【場 所】沼田町共成活性化センター
【講 師】松井佳祐学芸員

【内 容】火おこし体験 「東部地区こども育成会サマーフェスティバル 縄文時代の生活」



写真：火おこし体験

2-3. 広報出版活動

・広報誌『沼田町化石館だより』を8回発行。体裁はA4版両面モノクロ印刷で、毎回1400部印刷し、町内の全世帯に配布。

- 99号 2019年4月12日発行 「春だ！化石体験館オープン！」
- 100号 2019年5月24日発行 「大盛況GW過去最大の来館者」
- 101号 2019年6月21日発行 「化石採取会スタートやったぞタカハシホタテゲット！」
- 102号 2019年7月26日発行 「特別展『時をながれる川-沼田町1億年物語-』はじまる」
- 103号 2019年8月23日発行 「真夏の雪 納涼氷河期体験！」
- 104号 2019年9月28日発行 「恐竜復元教室」 「松原さんのクジラがわかってきた」
- 105号 2019年10月25日発行 「シンポジウム化石博士集合！」
- 106号 2019年11月22日発行 「北海道から初記録小さなヒゲクジラ」

・ホームページ、フェイスブックでの広報活動。適宜更新し、最新のお知らせやイベント情報などを掲載。

ホームページ「numata-kaseki.sakura.ne.jp」

フェイスブック「<http://ja-jp.facebook.com/nfmuseum>」

2-4. 研究

＜これまでの流れ＞

これまでヌマタネズミイルカの研究成果が挙っている（詳細は前々号参照）．本年は、ヒゲクジラの研究が大幅に進み学術的な報告を行なった（詳細は次項）．

＜プロジェクトの進捗と成果＞

ヒゲクジラの研究が二つ学術誌に掲載された (p1, 2)．これらは大人になっても 3m 程度の小型ヒゲクジラが存在していたことの報告である．p1 では、最も古いハーペトケタス属を報告し、p2 ではハーペトケタス亜科の記録として沼田の標本が太平洋では最北端の記録になり、生物地理的に重要な情報を提示したと考えている．これらは春の企画展で紹介された．今後、常設展で継続して展示する予定である．

小型のヒゲクジラの次は大型のヒゲクジラの研究が続く予定である．沼田はヌマタネズミイルカが 2000 年に新種に指定され、本年、北海道の天然記念物に指定された．これまで「プロトミンククジラ」と呼ばれていた雨竜川から見つかったクジラ化石の研究が終わり、早期公開がオンラインで開始された (p3)．プロトミンククジラと呼ばれていたものは新属新種として、今後、学名を *Miobalaenoptera numataensis*、和名をヌマタナガスクジラとする．これはナガスクジラ科の新種となる．この話題については、町内広報誌で紹介した．また、2019 年 4 月の企画展で紹介する予定である．

研究論文 publications

- (p1) Tanaka, Y. and Watanabe, M., 2018: A geologically old and ontogenetically young *Herpetocetus* sp. from the late Miocene of Hokkaido, Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology*, vol. 38, p. 1-10.
- (p2) Tanaka, Y., Furusawa, H., and Barnes, L.G., 2018: Fossil herpetocetine baleen whales (Cetacea, Mysticeti, Cetotheriidae) from the lower Pliocene Horokaoshirika Formation at Numata, Hokkaido, northern Japan. *Paleontological Research*
- (p3) Tanaka, Y. and Watanabe, M., in press: An early and new member of the Balaenopteridae from the upper Miocene of Hokkaido, Japan. *Journal of Systematic Palaeontology*

2-5. 資料管理

プレパレーション

松原クジラのクリーニングを継続．新しいプレパレーターへの技術の継承を念頭に行なっている．

ヌマタネズミイルカ北海道指定天然記念物指定

ヌマタネズミイルカ化石は、約 400 万年前（新生代新第三紀鮮新世）に生息していた小型の「歯クジラ」の化石である．日本で最初に新属・新種として生物学的記載がなされたネズミイルカ科の化石で、現生のネズミイルカとは古い時期に系統が分かれたグループの一つに属しており、ネズミイルカ科の進化史を探る上で重要な化石であるとともに、全身がほぼそのままの状態出土した世界的にも類のない良好な保存状態であるため、化石生成の研究でも度々引用され、学術的価値が高いことが認められ、今回北海道の天然記念物指定を受けた．

3. 管理運営

3-1. 化石体験館利用状況

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	年間合計
利用者数		870人	726人	1,766人	1,906人	530人	662人	6,460人
前年同月		743人	504人	1,497人	1,815人	465人	636人	5,660人
無料利用者	幼児	5	2	18	21	10	8	64
	学生	80	10	20	77	18	58	263
	一般	54	98	99	112	79	165	607
	小計	139	110	137	210	107	231	934
優待利用者	幼児(0)	0	0	0	0	0	0	0
	学生(150)	4	0	2	0	1	1	8
	一般(300)	15	5	12	5	7	19	63
	小計	19	5	14	5	8	20	71
通常利用者	幼児(0)	61	15	71	111	47	24	329
	学生(300)	109	28	121	214	48	44	564
	一般(500)	270	88	264	443	148	116	1,329
	小計	440	131	456	768	243	184	2,222
団体利用者	幼児(0)	41	15	113	139	22	24	354
	学生(200)	57	312	539	295	46	76	1,325
	一般(400)	174	153	516	489	104	127	1,563
	小計	272	480	1,168	923	172	227	3,242

※4月利用分は5月に、11月利用分は10月にそれぞれ含まれる。

3-2. 組織と職員

【平成30年度職員構成】（平成31年3月31日現在）

名誉館長 木村 方一（北海道教育大学名誉教授）

館長 三浦 剛（教育委員会次長）

学芸員 篠原 暁（教育委員会主幹）

学芸員 松井 佳祐（教育委員会主事）

特別学芸員 田中 嘉寛（大阪市立自然史博物館）

教育委員会事務局兼務

主査 中山 裕樹

社会教育主事 富田 匠

社会教育主事 和田 章人

化石レプリカ工房

臨時職員 高山 陽子

臨時職員 長谷川 文子

臨時職員 井上 絵理

化石体験館

臨時職員 菅原 瑞枝

臨時職員 鵜野 聡美

沼田町化石館年報 第18号

発行日 2019年3月31日
発行者 沼田町化石館
執筆・編集 松井佳祐・田中嘉寛

〒078-2202
北海道雨竜郡沼田町南1条2丁目7番49号
電話 Fax 0164-35-1034
Mail: kaseki@guitar.ocn.ne.jp

※本誌は沼田町化石館のホームページから pdf としてダウンロードできます